

More Small Space Design Challenges

Vidi Camera

debut


biamp.

小規模会議室向けの広角USBカメラ『Vidi 250 会議用カメラ』発売開始!!

Vidi 250は、Biampから初のカメラ製品で、ハドルームや中小規模の会議室でのWEB会議向けの高品質ソリューションとして設計されています。120°の広い視野を持った広角4Kカメラで、中小規模の会議室でも部屋にいる全ての人を撮影することができます。



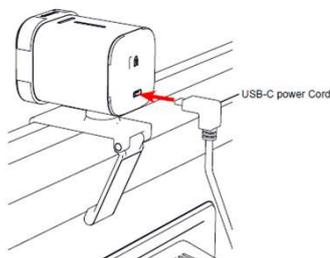
- ・4K、広角120°に対応する高度な光学システムと12MP SONY イメージセンサーを搭載
- ・UCクライアントには1080P@30
- ・ePTZ (5倍ズーム)
- ・参加者をフレームに収めるための自動フレーミング機能搭載
- ・ドライバー不要なUVC Control Protocol
- ・オンボードのビームフォーミングマイク搭載
- ・PC/MACでの制御および更新用のBiampCameraControlアプリケーション
- ・複数のマウントオプションを用意


Vidi 250
Size 160g


Mount

Vidi 250は、ディスプレイに取り付けることも、壁に取り付けることもできます。

Connection



Vidi 250はUCクライアント、USBハブ、PCと接続しUSB-Cで電源供給されます。付属の2m直角コネクタUSB3.0ケーブルがカメラに付属しています。

Display - Top Mount

Display - Side Mount

オプションで別売です。


Wall Mount


オプションで別売です。

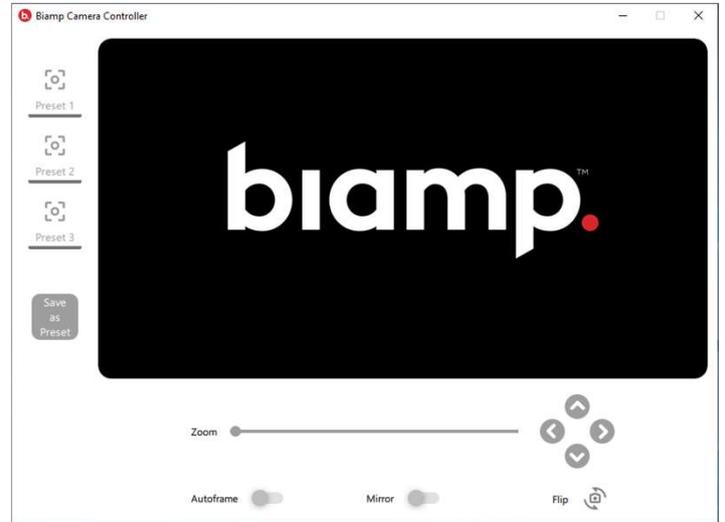
Display - Bottom Mount


視野角78度と120度の違いと自動フレーミングテクノロジー

Vidi250は4K、広角120°にて参加者全員をフレームに収めるための自動フレーミング機能を搭載しています。人間の顔を自動的に判断し適切にフレーム内に自動的に納めます。自動フレーミング機能はVidiカメラコントロールアプリケーションを使用する事でON/OFFも可能です。OFF時は手動で調整し、Presetも作ることが可能です。



BiampはVidi 250の制御と更新のためにPCまたはMacにインストールするカメラコントロールアプリケーションを提供します。ディスプレイの底面に取り付けた場合も上下反転が可能です。



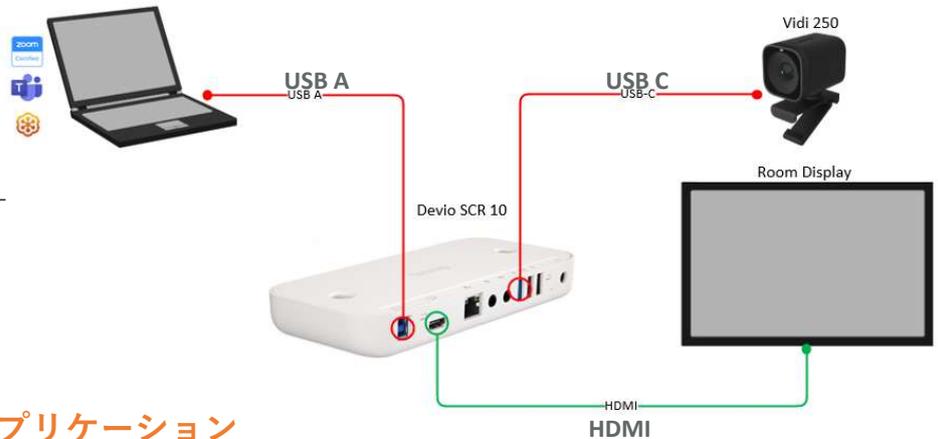
Vidiカメラは視野に対応する高度な光学システムと12MP SONY イメージセンサーを搭載しています。魚眼レンズ的な歪を無くし、繊細で高品質な映像を提供する事が可能です。

BYODハドルルームアプリケーション

このアプリケーションでは、Vidi250がこのBYODルームのカメラとマイクとして機能しています。

USBでラップトップ接続しDevioSCR-10を介したディスプレイへのDisplayLinkビデオ出力が可能です。オーディオ出力はディスプレイスピーカーを介してサポートされます。

Devio SCR-10には、追加のSBC2サウンドバーをサポートするために使用できる追加のUSBポートがあります。



DEVIOを用いたミディアムルームアプリケーション

Vidi250はBYODラップトップのカメラデバイスとして機能します。このシステムは、ParleTTM-XEXテーブルマイクを使用してより広い部屋をサポートするDevioSCR20を使用しています。

BYOD PC接続は、カメラとしてVidi 250を使用し、オーディオ I/OデバイスとしてDevioを使用しながら、DisplayLinkを使用して出力信号をディスプレイに送信します。

